

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 8年 1月26日

協議会名:大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通計画の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき将来像及び事業メニューの構築 ・新たな交通サービスの導入の在り方に関する検討調査 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の調査結果をもとに上位計画との整合性を考慮した将来像、事業メニューを整えた。 ・デマンドタクシーによる実証実験を通じて、4月以降の施策を検討している。 ・将来像のもと、計画目標や取組事業、評価指標を盛り込んだ計画案を作成中である。 ・内容の検討に当たっては都度協議会の同意を得た。 	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>本市既存公共交通事業の課題である収支率の低さや、交通不便地域の解消にかかる取り組みを中心に計画案を取りまとめ、年明け以降パブリックコメントによる意見募集を経て確定版としたい。</p> <p>また交通空白の解消のための新たな交通モードについては令和8年度以降の確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。</p>

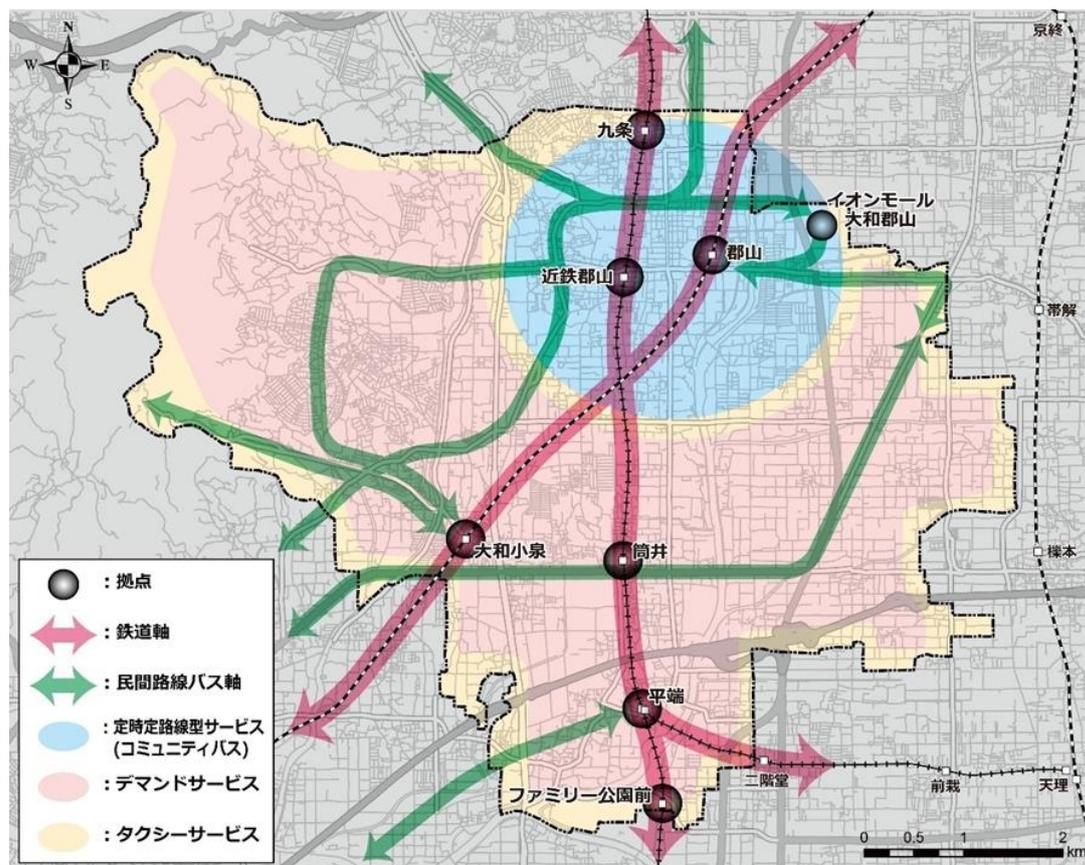
大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

- ・本市は県北西部に位置し、東西 9km、南北 7km の中に鉄道 2 路線 7 駅を有し、東西南北に国道や自動車専用道路を有している。
- ・本市の人口は 1995 年の約 9 万 5 千人をピークに減少を続けており、2035 年には 7 万人を割り込む予測となっている。
- ・公共交通における将来像は「公共交通の輪でつなぐ みんなの元気城下町(やまとおおりのやま)」と定め、民間交通事業者と協調した、コンパクトプラスネットワークによる地域づくり、交通網の維持を基本理念とする。
- ・計画期間は令和 8 年度かえら 5 か年とし、基本理念の実現に向けた具体的な取り組みを、客観的な評価指標のもと進めるものとする。

公共交通ネットワークのイメージ図



2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

以下4つの基本方針（目標）それぞれに評価指標を設定する。

1. 「コンパクトプラスネットワーク」による地域づくりを実現する拠点整備及びネットワーク構築の一体的な推進

⇒各公共交通の利用者数について人口減の中で現状維持を目指す

2. 既存公共交通機関の維持・強化につながるサービス体系の整備

⇒公共交通事業者数および路線バスの運行系統数について現状維持を目指す

3. 地域や民間活力を生かしつつ、行政が補完する階層的な公共交通サービスの整備

⇒市内交通空白エリアの解消と、公共交通への適切な公金投入を目指す

4. 地域と取り組む次世代の地域公共交通ネットワークづくりの推進

⇒市が行う公共交通事業の収支率改善を目指す

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

本市は比較的鉄道網やバス網に恵まれているものの、市東部全般や市西部の住宅地において交通空白地を抱えている。これまで市東部においてはコミュニティバスを展開してきたが、コストの上昇と利用者の伸び悩みに直面しており、効率的な運行に向けた再編が必要である。市西部の交通空白地においては、道路幅が狭くバスの運行に向かないため、新しい取り組みによる解決が必要である。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
計画策定のための基礎調査事業	協議会	R7.4～R8.3	策	R6年度同事業の結果を受け、将来像、取組内容などを定めた地域公共交通計画を策定する。
デマンドタクシー運行事業	協議会	R8.4～	フ	交通空白エリアの解消に向け運行を行う。

【種別】幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
住民主体助け合い交通	地域住民社協		地域の住民がボランティアドライバーを務め、移動したい住民の送迎をしている。

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標

4. 具体的取組に対する評価

- ・R6 業務の結果に基づいて、交通不便と判断した地域で実証実験を行い、会員登録者に対してアンケートを行った。結果については R8.4~の交通空白解消のための事業構築に反映することができ有意義な調査であったと考えられる。
- ・市が行う地域公共交通事業については、その位置付けを民間事業者の補完と位置付け共存を目指す姿勢を明らかにした。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
交通弱者の移動を支える交通手段の確保	デマンドタクシーを交通空白エリアへ導入し、随時見直しを図っていく。
ニーズや需要に応じたサービスの再構築	公共交通施策について、定期定量的な評価基準を策定し、継続的に再編等を行っていく。
持続的なサービスの提供に向けた体制の維持	市が行う公共交通施策については、適切な受益者負担や民間同業との均衡、共存を原則として、民間サービスの補完的なものと位置付ける。

大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
計画策定事業で得たデータを効果的に使い、交通空白の解消に努められたい。	計画策定期間中の実証実験について利用者や非利用者アンケートを行った。	結果を反映したうえで新年度以降に本格実装する。

2. アピールポイント、特に工夫した点など